



メモリ コンポーネントの交換

この付録では、Cisco AS5350XM ユニバーサル ゲートウェイの Field-Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット) であるメモリ コンポーネントを交換する手順について説明します。この付録の内容は、次のとおりです。

- シャーシカバーの取り外し (p.A-2)
- コンパクトフラッシュの交換 (p.A-5)
- DIMM の交換 (p.A-8)
- シャーシカバーの取り付け (p.A-11)

シャーシ カバーの取り外し

ここでは、シャーシ カバーを取り外してシャーシを開ける手順について説明します。

必要な工具

必要な工具は、次のとおりです。

- 中型のプラス ドライバ
- 小型または中型のマイナス ドライバ

安全に関する推奨事項

作業を安全に行うため、次の点に注意してください。



警告

電話網の電圧に接触しないように、シャーシを開く前に電話線を取り外してください。ステートメント 1041



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001



警告

シャーシを取り扱うとき、または電源装置の近くで作業をするときは、AC 装置の場合は電源コードを外し、DC 装置の場合は回路ブレーカーで電源を切断してから、作業を開始してください。ステートメント 12

ユニバーサル ゲートウェイの NVRAM は、内蔵リチウム バッテリーを使用してデータを保持しています。この部品はユーザ側で交換したり修理したりすることはできませんが、安全のため次の警告に従ってください。



警告

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。Statement 1015



警告

電源に接続されている装置を扱う場合は、事前に指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外しておいてください。これらの金属が電源やアースに接触すると、金属が過熱して重度のやけどを負ったり、金属類が端子に焼き付くことがあります。ステートメント 43

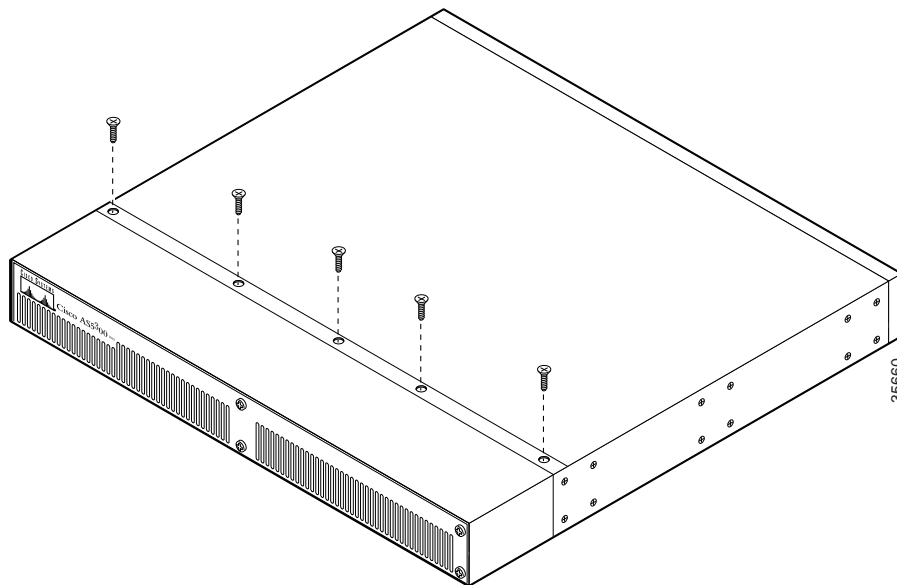
シャーシカバーの取り外し手順

ブート ROM ソフトウェア、SDRAM DIMM モジュールなど、ユニバーサル ゲートウェイの内部コンポーネントにアクセスするには、そのシャーシを開ける必要があります（ブート ROM を交換するときは、シャーシ内のフィーチャカードをすべて取り外すことも必要です）。

シャーシカバーを取り外すには、次の手順に従います。

- ステップ 1** ユニバーサル ゲートウェイの電源スイッチをオフにし、設置場所の電源を切断します。
- ステップ 2** ユニバーサル ゲートウェイの背面パネルから、インターフェイス ケーブルをすべて取り外します。
- ステップ 3** 前面パネルが手前になるようにゲートウェイを置きます。
- ステップ 4** シャーシカバーの 5 つのネジを取り外します（[図 A-1](#) を参照）。

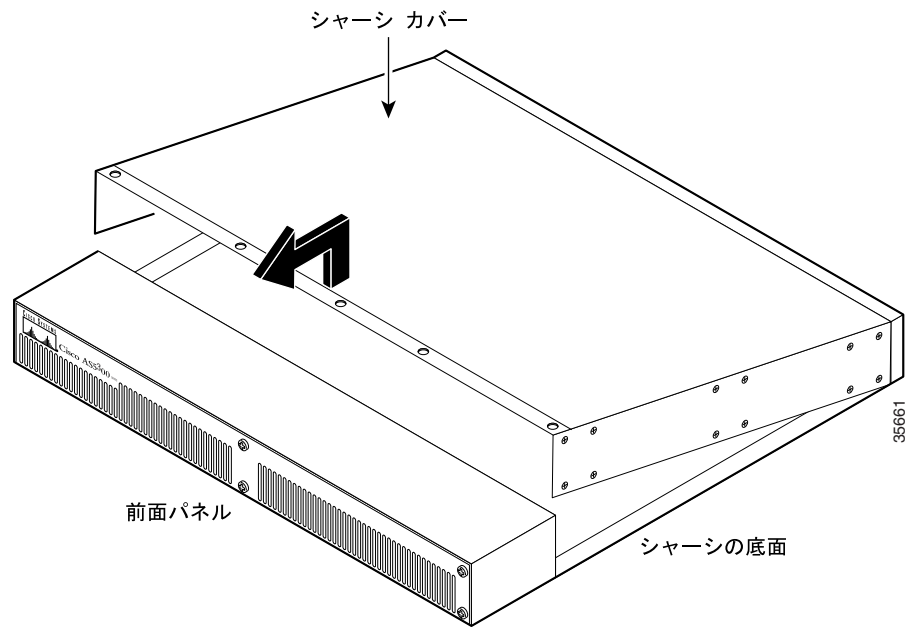
図 A-1 シャーシカバーのネジの取り外し



- ステップ 5** マイナス ドライバを使用して、ゆっくりとカバーを開きます。シャーシカバーを持ち上げ（[図 A-2](#) を参照）、シャーシ背面のタブから引き出します。

■ シャーシ カバーの取り外し

図 A-2 シャーシ カバーの取り外し



コンパクトフラッシュの交換

コンパクトフラッシュを交換する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 電源をオフにし、設置場所の電源を切断します。

DC 電源ユニットの場合は、次の警告に注意してください。



以下の作業を行う前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。ステートメント 1003



アースコードまたは電源コードをシャーシに接続またはシャーシから切り離す前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。すべての電源を確実に切断するには、配電盤上で DC 回路に対応している回路ブレーカーを OFF の位置に切り替え、回路ブレーカーのスイッチハンドルを OFF の位置のままテープで固定します。ステートメント 140



電話網の電圧に接触しないように、シャーシを開く前に電話線を取り外してください。ステートメント 1041

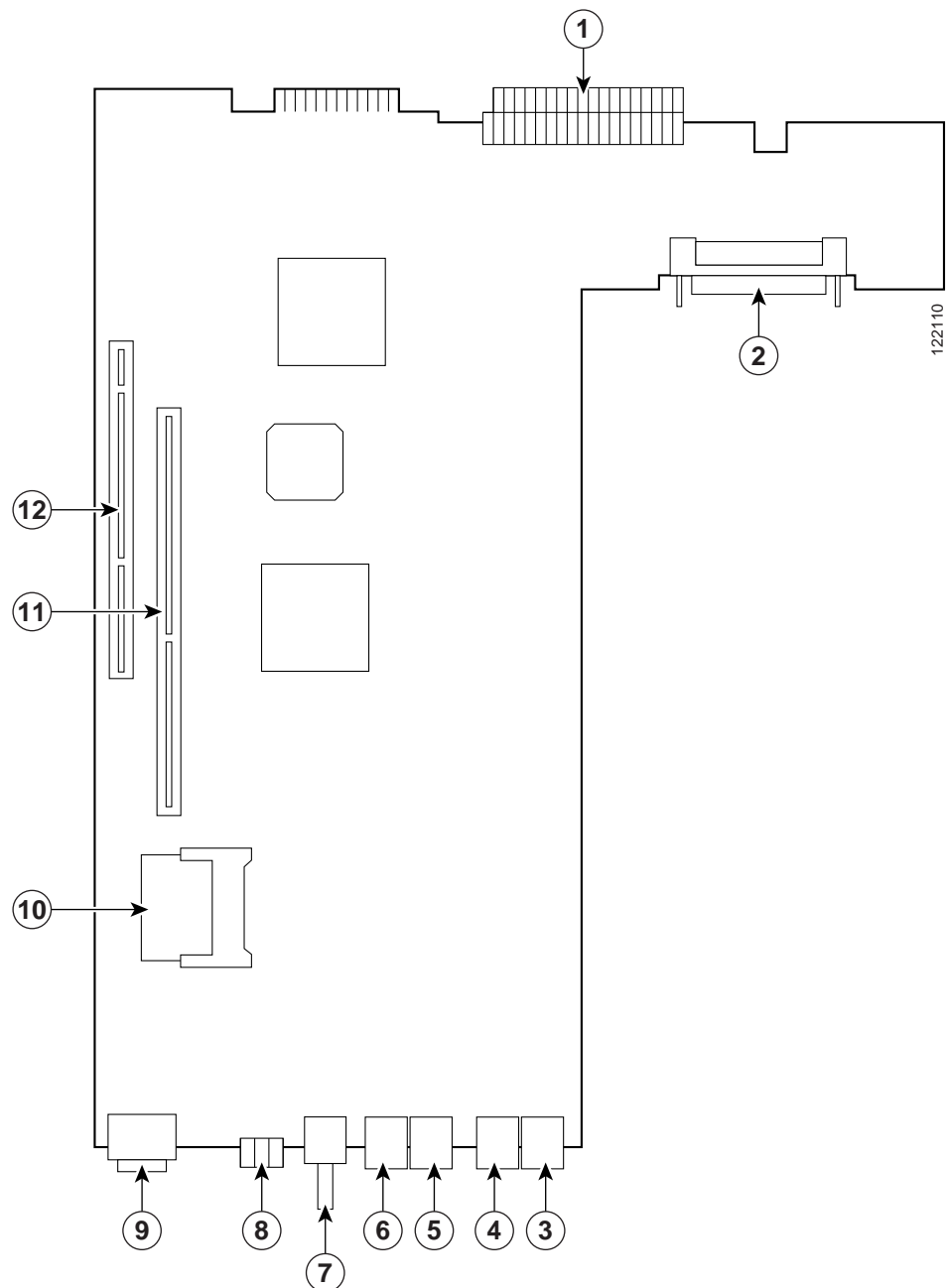
ステップ 2 DFC からすべてのインターフェイスケーブルを取り外します。

ステップ 3 静電気防止用リストストラップを着用します。

ステップ 4 シャーシカバーを取り外します（手順は「シャーシカバーの取り外し」[\[p.A-2\]](#)を参照）。

ステップ 5 システムボード上のコンパクトフラッシュの位置を確認します（[図 A-3](#)を参照）。

図 A-3 メモリの位置



| | | | |
|----|------------------|----|---------------------|
| 1 | バックプレーン コネクタ | 2 | システム ボード DFC コネクタ |
| 3 | AUX | 4 | CON |
| 5 | GE1 | 6 | GE0 |
| 7 | BITS ポート | 8 | アラーム ポート |
| 9 | 2T シリアル インターフェイス | 10 | コンパクト フラッシュ |
| 11 | DIMM スロット | 12 | 32 ビット PCI インターフェイス |

ステップ 6 古いコンパクトフラッシュを指でゆっくり引き出し、非導電性のシートの上に置きます。ソケットの損傷を防ぐため、無理な力を加えないように注意してください

- ステップ 7** ソケットに新しいコンパクトフラッシュを差し込みます。下部のピンを曲げたり破損したりしないように注意してください。もしピンが曲がってしまった場合は、必要に応じてラジオペンチを使用してピンを伸ばします。
- ステップ 8** シャーシカバーを交換します（手順は「シャーシカバーの取り付け」[p.A-11]を参照）。
- ステップ 9** ユニバーサルゲートウェイの電源を入れます。メモリ関連のエラーメッセージが表示された場合は、新しいコンパクトフラッシュをいったん取り外し、ソケットにしっかり差し込むように注意しながら、再度取り付けます。
-

DIMM の交換

ここでは、Cisco AS5350XM ユニバーサル ゲートウェイの DIMM の交換手順を説明します。ユニバーサル ゲートウェイには、DIMM が 1 つあります (図 A-4 を参照)。デフォルトの工場出荷時の設定は、512 MB Double Data Rate (DDR1) SDRAM DIMM です。

次のような場合に、DIMM の拡張が必要になります。

- より多くのメモリを必要とする新しい Cisco IOS フィーチャ セットまたはリリースにアップグレードした場合。
- 非常に大きいルーティング テーブル、または多数のプロトコルを使用している場合 (ユニバーサル ゲートウェイが、大規模な外部ネットワークと内部ネットワーク間の接続装置として設定されている場合など)。

必要な工具および機器

必要な工具および機器は、次のとおりです。

- 静電気防止用リストストラップ
- 適切な DIMM

DIMM の交換手順

DIMM を交換する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 ユニバーサル ゲートウェイの電源を切り、設置場所の電源を切断します。

DC 電源ユニットの場合は、次の警告に注意してください。



以下の作業を行う前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。ステートメント 1003



アース コードまたは電源コードをシャーシに接続またはシャーシから切り離す前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認します。すべての電源を確実に切断するには、配電盤上で DC 回路に対応している回路ブレーカーを OFF の位置に切り替え、回路ブレーカーのスイッチ ハンドルを OFF の位置のままテープで固定します。ステートメント 140



電話網の電圧に接触しないように、シャーシを開く前に電話線を取り外してください。ステートメント 1041

ステップ 2 ユニバーサル ゲートウェイの背面パネルから、インターフェイス ケーブルをすべて取り外します。

ステップ 3 静電気防止用リストストラップを着用します。

ステップ 4 シャーシカバーを取り外します (手順は「シャーシカバーの取り外し」 [p.A-2] を参照)。

ステップ 5 図 A-3 を参照し、交換する DIMM の位置を確認します。

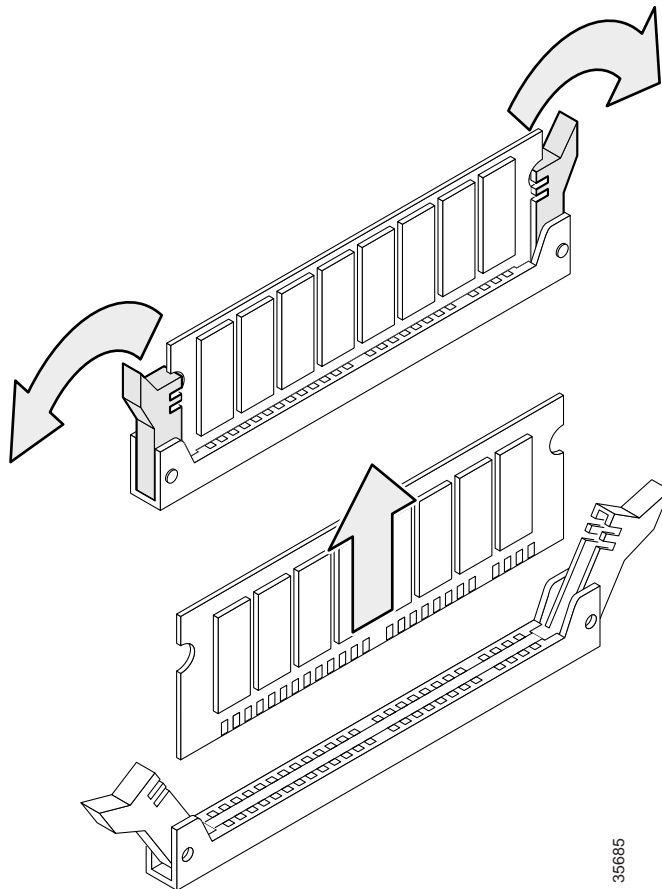
ステップ 6 ソケットのラッチを引っ張って DIMM から外し、ソケットから DIMM を引き出します (図 A-4 を参照)。ラッチは DIMM としっかりとかみ合っているため、ソケットを損傷しないように注意してください。



注意

DIMM の損傷を防ぐため、DIMM の中央部分を押さないようにしてください。DIMM は慎重に取り扱ってください。

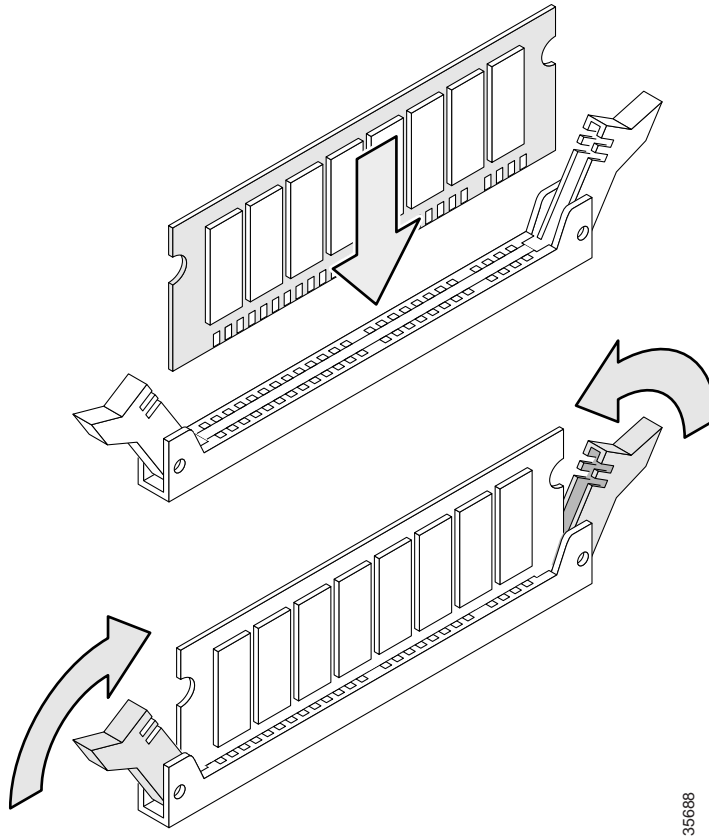
図 A-4 DIMM の取り外しおよび交換



ステップ 7 新しい DIMM の極性ノッチが DIMM ソケットの右端になるように位置を合わせます。

ステップ 8 新しい DIMM の金属製フィンガが並んだ端をスライドさせながら、DIMM ソケットに差し込みます (図 A-5 を参照)。

図 A-5 ソケットへの新しい DIMM の挿入



ステップ 9 両端のラッチがかかったことを確認します。ソケットの損傷を防ぐため、無理な力を加えないように注意してください

ステップ 10 ゲートウェイのシャーシカバーを元に戻します (「シャーシカバーの取り付け」 [p.A-11] を参照)。

ステップ 11 ユニバーサル ゲートウェイの電源を入れます。メモリ関連のエラー メッセージが表示された場合は、DIMM をいったん取り外し、ソケットにしっかり差し込むように注意しながら、再度取り付けます。

シャーシ カバーの取り付け

ここでは、シャーシ カバーを元どおり取り付ける手順について説明します。

必要な工具および機器

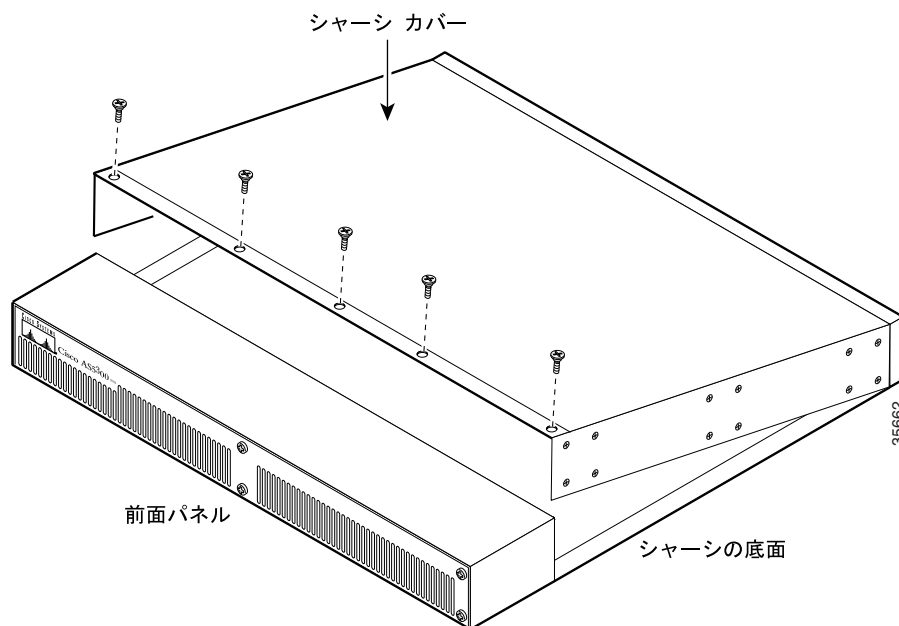
- 中型のプラス ドライバ
- ネジ×5

シャーシ カバーの取り付け手順

シャーシ カバーを取り付ける手順は、次のとおりです。

ステップ 1 前面パネルが手前になるようにシャーシ底面を置きます。(図 A-6 を参照)。

図 A-6 シャーシ カバーの取り付け



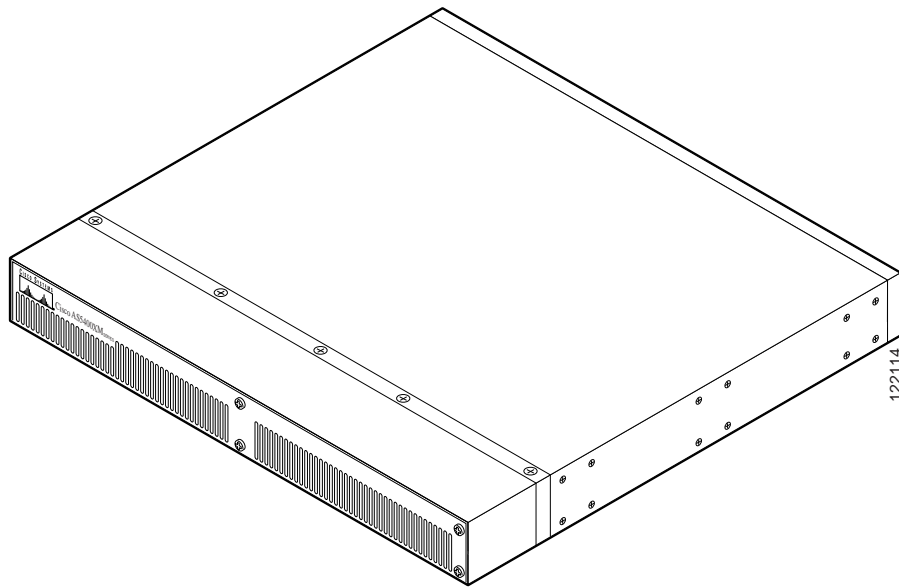
ステップ 2 シャーシ カバーをシャーシの上にかぶせ、シャーシ背面パネルの上部にあるシャーシ タブに、カバーの各タブを合わせます。

ステップ 3 次の点に注意しながら、カバーの前方を下げてシャーシを閉じます。

- シャーシ カバーのタブがシャーシ背面パネルの縁の下に入り、はみ出さないようにします。
- シャーシ タブがシャーシ カバーの下に入り、はみ出さないようにします。
- シャーシ カバーの両側の側面タブがシャーシの側面パネルの内側に入り、はみ出さないようにします。

シャーシ カバーを正しく取り付けると、タブはまったく見えなくなります。(図 A-7 を参照)。

図 A-7 Cisco AS5350XM シャーシ



- ステップ 4** シャーシカバーを5つのネジで固定します。
- ステップ 5** シャーシをラック、デスクトップ、またはテーブルに元どおりに設置します。
- ステップ 6** インターフェイス ケーブルをすべて元どおりに取り付けます。
- ステップ 7** 電源装置に AC 電源コードを元どおりに取り付けます。
- ステップ 8** ユニバーサル ゲートウェイの電源を入れます。

内蔵電源装置のファンが作動します。
